

北日本新聞八月十六日三十面

「ひいじいちゃん来たよ」

の記事を読ん

片山学園中学校二年 藤田 啓介

母が「学校の先輩たけど知ってる？」と、

聞いてきたので、「いつもはあまり新聞を読ま

ないけど、「ひいじいちゃん来たよ」の記事

を読んだ。片山学園高等学校二年の田林さん

が、東京の日本武道館で行われた全国戦没者

追悼式に参列した記事を読んだ。今年は戦後70

年で、テレビでは、ニュースや特別番組 映

画でも、多く取り上げられていたのだけれどこ

う見る機会があった。

実は、僕のひいじいちゃんも沖縄で戦死し

たと祖母から聞いた。祖母は四人兄弟の三番

目で、十歳の時に父を亡くしているという。

父は三十九歳だったそうです。残された家族

はずごく悲しかったと思うし、ひいじいちゃ

んも幼い四人を残して死ぬことは、無念な

たと思う。僕が幼い頃、旅行で沖縄に行っ

た

時、戦没者の慰霊塔に立ち寄り、たうしいのか
が全く覚えこいない。もしまた行く機会があ
れば、僕も田林さんのように、しっかりと
いいちやんに話しかけ、追悼できるかもしれ
ない。

僕は今年の春の修学旅行で広島に行き原爆
ドームを見学した。被爆した人の服や日用品
や皮膚なども展示してあり怖かったし、目を
そむけたい写真も多くあり、ショックを受け
た。その時から二度と戦争をしてはならない
と強く思った。また母の勧めで「永遠の0」
という映画を見た。特攻隊で国のために命を
ささげた人の話だ。実話を元に作られていて
かなり心にひびいた。

僕は全く戦争を知らないけど、たくさん人の犠
牲の上に今の平和がある事を忘れてはならな
いと、この新聞を読んで思った。いつもは予
レド覧ばかりばかり見ているけど、この記事
は、田林さんの言葉が素直に書かれていて、
すごくわかりやすかった。僕の両親はけこ

う隅から隅まで新聞を読んでいるのでこれは、
うは、気になった見出しの記事をけでも時間
を作って読みたいと思う。